

麦の穂

荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

43

平成 22 年 4 月 19 日 発行
編集 広報誌編集部会

出合いの季節

22 人の新しい仲間とスタート

荒木脳神経外科病院も 23 年目を迎え、新たに 22 名の職員の皆様を迎えております。併せてベトナム・ダナン病院脳神経外科から来院した Dr. PHU (フー先生) が研修生として、3 ヶ月間当院に在籍します。よろしくお願ひします。

一昨年 4 月より沖修一先生に院長を委ね、臨床の総括責任者をお願いしました。私は理事長として、光臨会の経営の総括責任者の立場で皆さんのお役に立ちたいと思っております。

ベトナム・ダナン病院から来院！ Dr. PHU (フー先生)

病院の向かう方向は、安全で、安心、そして質の高い医療の提供を目指しております。これを光臨会の理念に基づき事業展開をはかります。特にこれを脳卒中の領域に展開しようとしています。脳卒中と救急は切っても切れない関係にあります。DPC 対象病院 1, 334 病院の中で救急医療係数は 0.0124 と全国レベルでトップ、広島県レベルでも、もちろんトップに位置します。これは当院の運営方針即ち、『医療の原点は救急にあり、救急は絶対に断ら

ない姿勢を貫くべし』ということが職員の皆様によく理解された結果と思います。これからは脳卒中治療の中核病院として、大きな影響力をもつ病院となつてゆきたいと思ひます。

そのためには、職員に元気がなくてはいけません。職員の方達には、生きがいのある、やりがいのある、活気ある職場環境づくりをすすめてゆきたいと考えております。私は日頃より、光臨会の管理者の方達に、現場のスタッフが働き易いような環境をつくるお世話をするようにと指導をしております。新入職員の方、医療費は増えないという前提で、業務の効率化と今の緊張感を忘れず、光臨会の新しい歴史を切り開くことに挑戦してください。



新入職員を囲んで集合写真をパチリ！

まずは夢と希望をもつて縁あつて光臨会の職員となつた方々を、決して失望させませんので、新入職員の方も一生懸命頑張ってください。期待しております。

〈理事長 荒木 攻〉

D P Cを導入して

昨年4月よりD P Cを導入し、ちょうど一年が経過しました。当院では、D P Cとは自院の医療が見える鏡みたいなものと考え、また医療の透明化・ベンチマーク分析に期待し質の高い医療の提供に役立つツールとして導入を決定しました。

導入当初は、包括診療部分の削減（できる限り検査を減らそう、できる限り投薬を減らそう等々）を中心とした病院経営を重視してしまい、正直、患者本位から逸脱した運営をしてしまいました。

しかしながら、直ぐに、診療部よりこの運営方法では医療の質が保てないという意見が多く出され、質を担保しながらいかに効率性を向上させるかという議論が展開され、本来の目的に立ち返ることになりました。

またD P C導入以前よりクリニックパスの重要性は認識していたものの、実際の運営を目的にして、本当の意味での医療の平準化と効率性の必要性を痛感させられました。この段階でパスの重要性を職員全員が再認識し、本格的な当院独自の運営エンジンが始動されました。

当院の治療スタンスは、「必要な治療・投薬はすべて行う。」ジェネリック薬への移行も無理はせず、先発薬品も従来通りに使用します。必要な医療を、当たり前に行うという単純明快な方針です。

そうすることで、医師に責任感が創造されコスト意識が上がり、業務効率が向上しました。

さらに、医師と事務との距離が自然と近くなり、詳しい病名分類が可能となり、統計資質の向上も図れるようになりました。この一年は試行錯誤の運営元年であり、思いうような分析ができなかったため、今後は医療の質の改善に取り組むために、治療結果の分析や他院との比較及び患者満足度調査の実施をしたいと考えております。

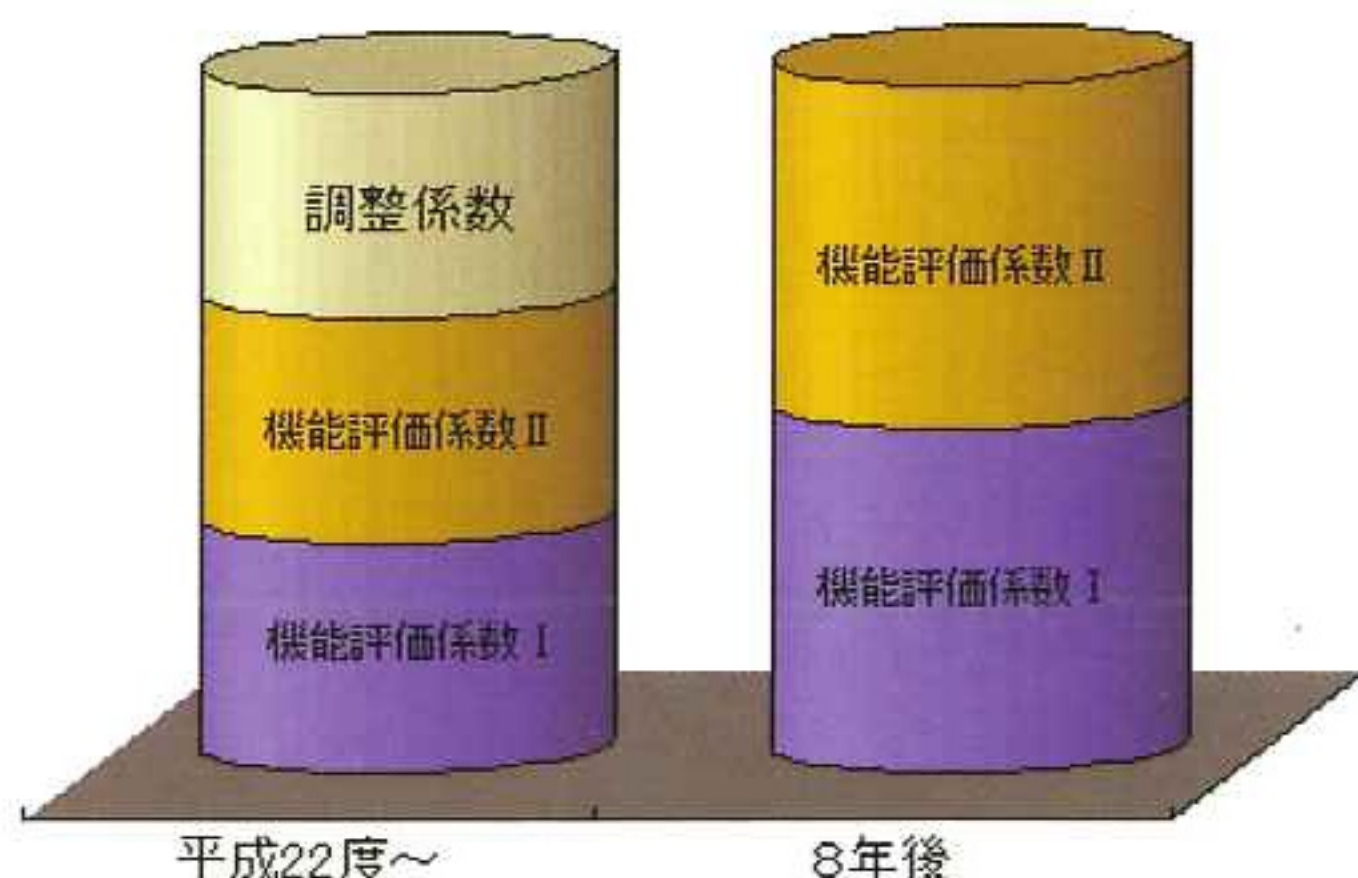
病院の実力に応じて

差がつく時代の到来

そして、さらに今年度、D P C病院の診療報酬について、「機能評価係数Ⅱ」という新しいルールが導入されました。新たに登場したこの数値に、医療界全体の関心が集まっています。当院の取り組みがどのように指数化されるのか興味津々でした。ご存じの通り係数が大きい病院のほうが高度な医療機能を有するとみなされるため、1日あたりの診療報酬単価を高く請求することができます。

従来も、D P C病院の診療報酬単価は、「調整係数（前年度の収入に応じて算定）」や「機能評価係数Ⅰ（施設基準や看護配置などで算定）」によって差がつけられていましたが、必ずしも各病院の診療実績（医療の実力）に基づくものではありませんで

した。しかし、D P Cの普及・機能評価係数Ⅱの導入によって各病院の診療実績が可視化されるようになったため、今後8年をかけてD P C病院間の価格差は「機能評価係数」に基づく価格差に一本化されていく予定となっています。



病院の実力に応じて医療の価格に差がつく時代が、いよいよ到来したと言っても過言ではないと思われます。

全国のD P C病院で

39位

今年度のD P C病院の「機能評価係数Ⅱ」が厚生労働省より平成22年3月19日官報（厚生労働省告示第九十八号）で掲載され、当院は全国1, 334のD P C

病院中39位という高位に位置しておりました。

当院の試行錯誤の一年の取り組みが、取り急ぎ評価されているものと安堵しております。

最後に、D P Cのポイントは、「D P Cはあくまで手段であり目的でない。」この考えが基本と痛感しております。D P Cという手段を有効活用し、質の高い医療を担保しつつ、脳神経疾患の急性期治療を通じて患者満足度を向上させるという目的を継続実践したいと考えております。くわえて、急性期医療は勿論のこと、回復期及び維持期まで全人的医療の提供をするために、職員一丸となり日々努力邁進する所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈事務部長 松下 督克〉

（病院情報局のホームページ
<http://hospia.jp/wp/archives/1433/>
にも掲載されておりますので、ご覧頂ければ幸いです。）



あんしんホーム設立 10 周年

あんしんホームは今年、設立から10周年を迎えます。これも、ご家族様や地域の皆様をはじめ、多くの方々のご指導のお蔭と感謝の念に絶えません。介護保険法の施行後まもなくの開設から、医療法人を母体とした

グループホーム（認知症対応型共同生活介護）という特色を活かし、認知症のある入居者様とスタッフが共に過ごし、より充実した生活を営んでいけるよう援助を行ってまいりました。それに加えて、医療や福祉の面でも質の高い援助を行えるよう、職員一同尽力してまいりました。

閑静な住宅地にあり、ゆったりとした時間の暮らしをみんなと一緒に営みながら、掃除や調理、散歩、レクリエーション

といった日々の生活の中にある運動や役割から健康維持や生活の楽しみを得られる事を大切にしています。そして、荒木脳神経外科病院の医師が週に一度訪問診療に訪れること、更に緊急時には24時間体制での対応

を受けられることは、入居者様、ご家族様から大きな信頼を頂いています。10周年という節目を迎え、さらに入居者様、ご家族様に満足の頂けるよう尽力していきたいと思っておりますので、どうぞ皆様のご指導を宜しくお願い致します。

へあんしんホーム

主任 三木 伸介



あんしんホーム（認知症対応型共同生活介護）

- ・入居対象者：軽い認知症があり、介護保険で要支援2から要介護5の認定を受けている方、少人数による共同生活を営むことに支障がない方
 - ・入居定員：18名
 - ・所在地：〒733-0822
広島市西区庚午中2丁目11-15
あんしんプラザ2階・3階
 - ・お問い合わせ：082-507-6600
- ※見学ご希望の方は、担当者の三木までご連絡ください。

ご存知ですか？

意思表示と臓器移植

皆さんは最近、健康保険証の裏面をご覧になったことがあられるでしょうか？平成20年9月30日以前に発行された政府管掌健康保険の健康保険証（オレンジ色）は平成22年3月31日をもって使用できなくなりました。そして、新しく発行された水色の健康保険証から裏面に臓器提供意思表示欄が設けられており、脳死と判定された際、本人に臓器提供の意思があるか確認する為に使われます。臓器移植とは、重い病気や事故などにより臓器の機能が低下し、移植でしか治療できない方と死後に臓器を提供しても良いという方を結ぶ医療で、第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立たない医療です。

日本で臓器の提供を待っている方は、およそ12,000人、それに対して移植を受けられる方は、年間およそ200人です。

臓器提供の意思は提供してもいい臓器に○をつけることで表しますが、番の「私は、臓器を提供しません。」を選択することも可能です。

臓器提供意思表示欄の記入は任意であり、記入を義務付けられるものではありません。しかし、善意で助かる「命」があります。もし未記入でいらっしゃれば、あなたの意思を記入してはみませんか？

へ臨床検査工学科 酒井和宣

参考文献：全国健康保険協会ホームページ

<http://www.kyoukaikempo.or.jp/11,189,43.html>

■ 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に幅広い診療体制で地域医療に貢献します。
- 一、高度な診断・検査機能の提供により、早期発見・早期治療に取り組みます。

■ 運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

■ 患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
2. 最善かつ、安全な医療を受ける権利を尊重します。
3. 医療に関して知る権利を尊重します。
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。

■ 患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表



診察時間 午前 9 時～12 時
午後 3 時～6 時
初診受付時間 午前 11 時 30 分迄
午後 5 時 30 分迄

- 当院での診察は予約制となっております
- 救急の場合は 24 時間受け付けております

※1 循環器科

※2 消化器科

※3 形成外科 第 2 水曜日（午前中のみ）月 1 回
平本 道昭（大阪府済生会中津病院 形成外科）

脳神経外科

平成 22 年 4 月 1 日現在

		月	火	水	木	金	土
午 前	初診（1診）	谷	長 尾	理事長	沖院長	長 尾	広 大
	再診（2診）	理事長	沖院長	長 尾	長 尾	谷	谷
	再診（4診）				理事長		
午 後	初・再診	沖院長	谷	広 大	鯉 川	谷	広 大

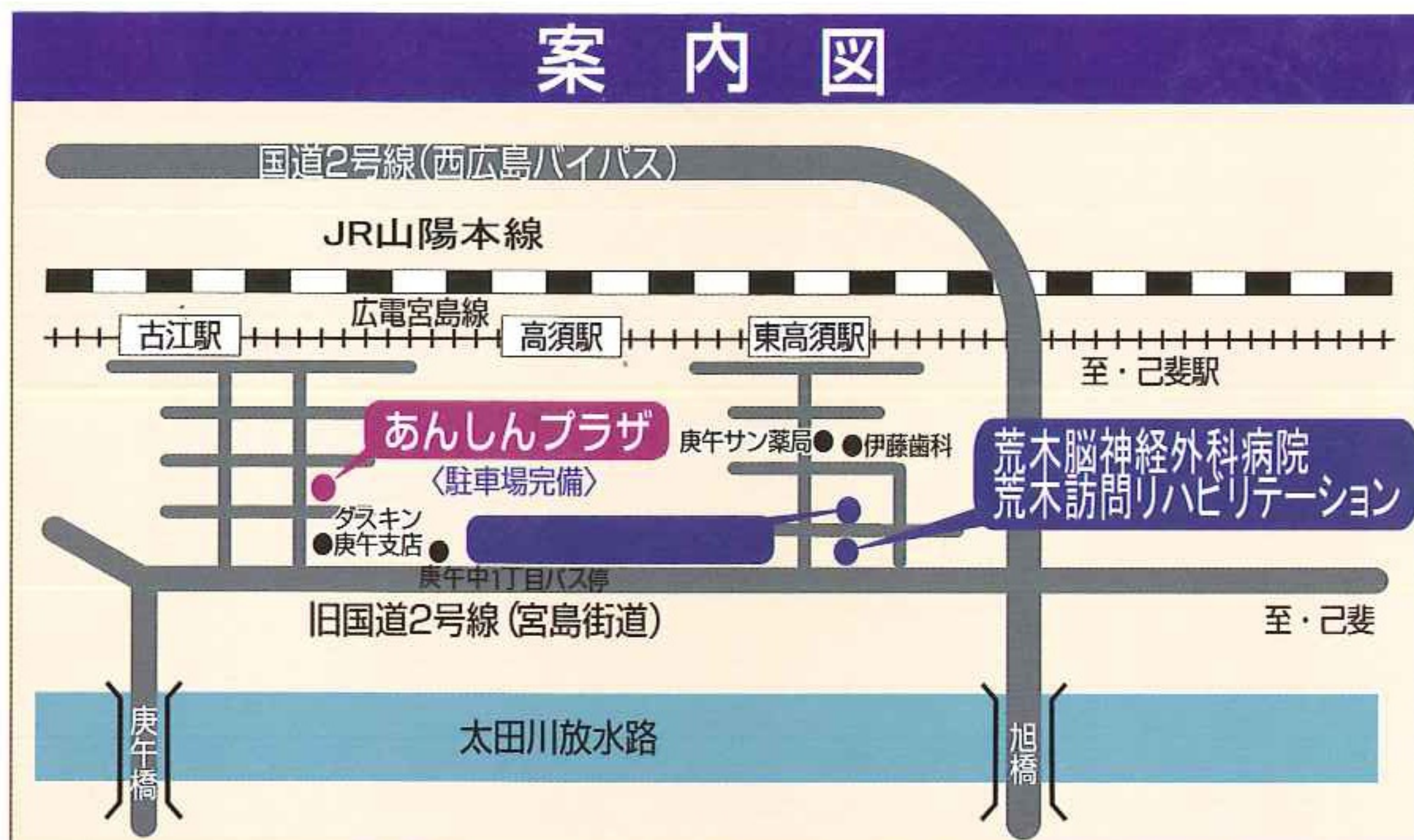
総合診療（内科）

午 前	3 診	*1 野 村		*1 野 村	*1 野 村	*1 野 村	*1 野 村
	4 診		*2 渡 辺				*2 渡 辺
午 後	3 診	*1 野 村			*1 野 村		*1 野 村

形成外科

午 前	4 診			*3 平 本			
-----	-----	--	--	--------	--	--	--

案 内 図



医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-272-1114
FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション TEL 082-527-1123

荒木居宅介護支援事業所 TEL 082-507-6300
〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 7-10

あんしんプラザ

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

荒木クリニック

通所リハビリテーション TEL 082-507-6100

あんしんホーム

（認知症対応型共同生活介護施設）TEL 082-507-6600

お知らせ

5 月 26 日に健康教室を予定しています。
皆様奮ってご参加ください。

交通案内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ 100m（宮島街道沿い）

○広島電鉄・宮島線

「東高須」下車 徒歩 3 分

○広島バス 25 号線

「庚午北 2 丁目」バス停前

